

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 10 月 21 日 (金)

第 23 号

発行人 校長 鈴木史良

裾野市の未来を思う

—— 市政40周年記念作文最優秀賞に輝いた深中生 ——

10月16日(日)、市民文化センターで裾野市制40周年記念式典が盛大に挙行されました。細野豪志環境大臣兼内閣府特命担当大臣もお祝いに駆けつけられました。その式典第1部の最後に登壇し、裾野市の未来への思いを作文にして語ってくれたのが本校1年生の荻野芽生さんでした。

ここに、その一部を紹介させていただきます。

(前略)今、少子高齢化でいちばんの働き手となる若い人々の割合が減りつつあります。今後10年経つまでに加速すること考えられます。そして、せっかく良い環境で教育を受けられていても地元では就職が少なく、裾野市のために働ける

能力をもっているほとんどの人たちが市外へ流出しています。10年後、今よりも住みやすい裾野にするためにはどうしたらよいのでしょうか。

去年までのわたしだったら、ゴミもあまり目につかない美しい景観の裾野市とか、親しい挨拶をより多くの人たちと交わせる市とか、便利な道路や公共施設がある市、といったことを中心に考えていたと思います。

しかし、今年の3月以降あの大きな震災がわたしたちに、本当に大事なものは美しい景色や施設のような「もの」ではなく、そこに住む「人々」とその行動なのだと教えてくれました。

(中略)都市の未来は、住んでいる人たちの意識とエネルギーがあってこそ向上します。10年後の裾野市には、古い伝統を重んじつつも、いろいろな考えをもった多くの人たちが集まって、新しい発想や文化で大きく発展していただきたいと思います。10年後の裾野市に、わたしも社会人としての「場」があることを心から願い、努力していきたいと思っています。

以上、2000字近い作文のごく一部の紹介でしたが、わたしが特に心うたれたのは、東日本大震災を通して、“本当に大事なものは「もの」ではなく、「人々」とその行動なのだと教えてくれました。”と述べている箇所です。中学1年生とは思えないようなすばらしい社会眼をもっているなど感心しました。

どの社会でも自然災害や生活の営みから生じる諸問題が存在します。そういう問題に正面から向き合い、解決策を講じて自分たちのコミュニティーを守っていくことができるのは、まさに「人々」の力の総和です。

このことは、本校1年生が取り組んでいる劇「いのちの用水」のテーマに響き合い



多くの市民に思いを語る荻野さん

ます。日照り、干害という厳しい現実には直面した民衆が、その現実に対峙する中で問題解決のために芦ノ湖の水を深良に落とすという奇想天外な案を発想し、近在の村々とコンセンサスを形成し、協力態勢を築いた結果、「深良用水」というインフラを完成させて自分たちの社会を安定した持続可能な社会に導いていった、と捉えることができるのではないのでしょうか。「深良用水」の事実は、どんな時代にも人々が現実問題から目をそらさずに格闘し、よりよい社会を実現させるために努力してきた地域の先達の姿を証明しているのです。今、深中生だけでなく、多くの若者が、荻野さんの言うような本当に大事なことに気づき、行動できる力を身につけてほしいと願います。

中体連駅伝東部大会での健闘を讃える！！

10月15日（土）、雨風の強い朝でしたが、平成23年度中体連駅伝競争大会東部地区予選会が裾野市総合グラウンド陸上競技場で行われました。この競技には個々に所属する部活動をこえて、学校代表として選抜された生徒たちが出場しました。この大会に出場するために、古谷先生、湯山先生、田代先生の熱い指導のもと、6月から早朝に3km、部活動終了後に3km、アップも含めて毎日8kmを走り込んできました。この努力は並大抵のものではありません。全校生徒たちは壮行会で精一杯の応援をしました。

当日は天候を考慮して1時間遅れの進行となりました。女子のスタートは午前10時30分。小雨の降る中、雨も味方にして深中の女子選手が激走しました。また、男子のスタート時間、12時頃になると小雨もやみ、絶好のコンディションになりました。深中の男子選手たちは自己ベストの走りを見せてくれました。一生懸命がんばった選手たち、選手たちを支えてくださった保護者の皆様に感謝するとともに、男女駅伝チームのこれまでの取組と大会での健闘を大いに讃えます。

【男子選抜チーム】（結果 29位／34チーム中）

1区 大塚舜介 2区 藤井和章 3区 勝又崇明 4区 廣瀬渡 5区 勝又健太 6区 西島佑輝也 補欠 御宿豊

【女子選抜チーム】（結果 23位／31チーム中）

1区 菅沼早紀 2区 佐藤華 3区 鷹觜桜 4区 梶原菜帆 5区 阿部風沙 補欠 佐野愛梨 補欠 倉田桃 補欠 高橋奈於 補助員 増田ひかり



雨中スタートしていった女子



激走が続いた男子の争い



やり遂げたさわやかな笑顔